

令和3年度第2回障害保健福祉施策連絡会会議録

1 開催日時

令和4年3月22日（火） 午後1時30分から午後3時00分まで

2 開催方法

Zoomによるオンライン開催

3 出席状況

（出席）

浜松市浜松手をつなぐ育成会 小出隆司・伊藤幸枝・藤木るみ子

NPO法人浜松地区肢体不自由児親の会 里あゆ子

NPO法人浜松地区精神保健福祉会 明生会 岩本重幸

浜松市視覚障害者福祉協会 安松和男・赤堀奈津子

浜松の福祉を考える会 小田木一真、村松良子、矢島利充

浜松ろうあ協会 伊藤行夫・藤森秀一

浜松市浜北手をつなぐ育成会 西田まり子

ぞうさんの会 増井けさみ

（欠席）

NPO法人浜松市身体障害者福祉協議会

アクティブ

天竜川地域精神保健福祉会 若杉会

（浜松市障がい者基幹相談支援センター）雨宮寛

（事務局 障害保健福祉課）

久保田課長、鈴木精神保健担当課長、柴田副主幹、河合副主幹、大庭副主幹、山内

4 議事内容

（1）福祉交流センターについて

（2）浜松市障がい者相談支援センター評価について

（3）障がい者自立支援協議会活動報告

（4）その他

5 記録の方法

発言者の要点記録

6 会議記録

- 1 開会
- 2 議事

(1) 福祉交流センターについて

福祉総務課より資料を元に説明

福祉センター改修について13か月間休館という形となり、ご迷惑をおかけしている。令和が年度から設計を始め、当事者の方には説明、ご意見等をいただきながら進めてきたが、新型コロナウイルス感染拡大により社会福祉協議会への貸付相談等が増加し、相談者に対してなるべく相談しやすい環境を整えたいと今年度から機能強化を含め設計を変更して進めてきた。その件について、当事者の方に説明が不足しており、お詫び申し上げます。

〈浜松ろうあ協会 伊藤〉

オンラインの会議や研修等が増えているが、Wi-Fiは管内で使用可能か。

〈福祉総務課〉

Wi-Fiは、管内すべてで使用可能。

〈福祉を考える会 村松〉

調理室の設置がなくなっているが、それに代わる施設はあるのか、その代替え施設の紹介はあるのか。

〈福祉総務課〉

福祉交流センター内に調理室の設置予定はない。周辺の施設であれば、クリエイト浜松で利用が可能。周辺の施設の調理室はある程度の空き状況があることを把握している。利用の際は調理室の備えている施設へ問い合わせ確認していただきたい。

〈福祉を考える会 村松〉

代替え施設には調理台が上下する調理室はあるのか。

〈福祉総務課〉

全ての施設を把握しているわけではないが、そのような設備を備えている施設はある。

〈福祉を考える会 村松〉

そのような施設の案内をしていただけると助かる。

〈視覚障害者福祉協会 安松〉

今まで調理教室を毎年2回くらい利用していた。視覚障害者にとっては別施設の利用が難しいため、福祉交流センターでその代わりとなるような設備を考えていただきたい。また、できるだけ早く館内の様子を見させていただきたい。

〈福祉総務課〉

コロナ禍等もあり、機材の搬入が遅れているため、オープン直前になる可能性はあるが、内覧会は開催予定。

〈福祉を考える会 矢島〉

調理室がなくなるということだが、他施設のユニバーサルデザインを調べた上で、他センターの利用について促すべき。早急に対応してほしい。

〈福祉総務課〉

当事者の方も使いやすい施設がどこにあるのかを調べてご案内をさせていただきたい。

〈福祉を考える会 村松〉

改修して終わりではなく、当事者を含めてみんなで使い勝手をよくできるように考えていってほしい。

(2) 浜松市障がい者相談支援センター評価について

事務局・柴田より説明

障がい者自立支援協議会に設置した相談支援部会の中で、委託相談ワーキングを設置し、障がい者相談支援センターの評価の仕組みについて検討をしてきた。当事者の方にもモデル評価の協力を依頼し、ある程度の集計ができたため報告をさせていただく。モデル評価を依頼したのは、関係機関10カ所、民生委員や包括支援センター、計画相談支援事業所等。今回のモデル評価実施についても検証を行い、障がい者相談支援センターが、よりよいものとなるようにしていきたい。

(3) 障がい者自立支援協議会活動報告

事務局・柴田より資料を元に説明

〈ろうあ協会 伊藤〉

各エリア連絡会の聴覚障害者の参加状況はどうなっているか。

〈事務局 柴田〉

エリア連絡会により参加者が違ってくる。

〈ろうあ協会 伊藤〉

当事者がどのエリア連絡会に参加しているのかもわからないし、参加していないエリア連絡会の状況もわからない。

〈事務局 柴田〉

周知方法の検討をしていきたい。

〈福祉を考える会 矢島〉

協議会への当事者の参加だが、各エリア連絡会から当事者団体へ通知を出し、参加については当事者団体が判断すれば良いのではないかと。

〈事務局 柴田〉

頂いたご意見は、エリア連絡会へ報告をする。

〈基幹相談支援センター 雨宮〉

それぞれの当事者団体で組織状況等が異なるため、エリア連絡会に合わせた形で参加してもらうことが難しい状況にある。どのような形で参加ができるのか当事者団体から教えていただけるとよいのではないかと。その上で当事者団体へ情報を伝えていくのはどうか。

〈福祉を考える会 矢島〉

雨宮氏の意見に賛成する。

〈事務局 柴田〉

各エリア連絡会と話をしてどのように進めていくのかを検討する。

〈浜松手をつなぐ育成会 小出〉

国はバリアフリー化を進めているが、浜松市が福祉交流センターについて、障がい者の対応にどれだけ考慮しているのか疑問に感じる。改修にあたって当事者の意見を聞いていないため、このような対応は改善していただきたい。バリアフリー化については、当事者の意見を聞きながら進めていってほしい。

障がい者自立支援協議会の在り方だが、放課後等デイサービス、日中サービス支援型グループホーム等の数が増え、福祉サービスに関して株式会社や NPO 法人等の参入が進んでいる。株式会社や NPO 法人等は、組織の仕組みとして監査が甘いことから、コンプライアンスが守られるか疑問がある。事業所指定については協議会の機能を活かして評価してほしい。

〈事務局 久保田〉

いただいたご意見は福祉総務課へ伝える。また、今後も色々な施策を進めていく中で、当事者の意見を伺いながら進めていきたい。

事業所に指定については、今年度から代表者等へのヒアリングをしながら対応している。実地指導もよりよい運営ができるよう対応していきたい。

〈福祉を考える会 村松〉

福祉交流センターについては、改修後に使い勝手が悪い等の声をあげていきたい。使い勝手をよくするために、改修して終わりではなく対応してほしい。

〈事務局 久保田〉

ご意見については福祉総務課へ伝える。

〈基幹相談支援センター 雨宮〉

育成会小出氏より、福祉サービス事業所についての話があったが、相談の立場からすると当事者のニーズに比べると施設数はまだ足りない。事業所の質を担保した上でやっていくのであれば、今よりも事業所数は必要となることは承知しているか。

〈浜松手をつなぐ育成会 小出〉

数も質も当事者にとって満足できるものとなる方が良い。サービス事業所に人材が集まっていないことも課題であるため、意見交換しながら検討していきたい。

〈基幹相談支援センター 雨宮〉

当事者の立場から地域の中でどのような課題があるのかを、エリア連絡会で声をあげていただけると良いのではないか。

〈視覚障害者福祉協会 安松〉

他の方からも意見があがっていたが、福祉交流センターは、当事者の意見を聞いて改修等を進めてほしい。

〈事務局 久保田〉

ご意見については福祉総務課へ伝える。

〈ろうあ協会 藤森〉

浜松市として障がい者団体の代表を選んでいない。当事者が集まって情報交換する場を作るべきだと思うが、浜松市としてどのように考えているか。

〈浜松手をつなぐ育成会 小出〉

藤森氏からの意見だが、当事者が集まって意見交換をするのであれば、行政が音頭をとるものでないと思う。今日の会議は行政が当事者からの意見を聞きたいと場を設けているものであり、行政主導でそのような団体を作るのは違うのではないか。障がい者が手を取りあって意見をまとめていくことは、当事者が考えるべきこと。

〈ろうあ協会 藤森〉

身体障害者福祉協議会が本連絡会に参加しないことが疑問。

〈事務局 久保田〉

身体障害者福祉協議会の欠席理由は不明。障がい者団体同士のつながりを作るための連合会等の設置については、行政が主導で対応するものではないことをご理解いただきたい。